

連盟会報

発行日：2015年(平成27年)1月23日

新春号

…◆第37号◆…(P-1)

発行：NPO法人 日本抜刀道連盟

企画・構成・編集：広報部

…事務局…〒130-0026

東京都墨田区両国 2-21-5 両国ダイカンプラザ802号

☎：03-3631-5851 FAX：03-3631-5852

… “絆と修練” …

連盟本部主催 新春『制定刀法講習会』開催



…連盟の次代を担う全国各地の支部を代表して参画した精鋭選手の雄姿…

前列中央【連盟会長以下本部役員】

2015/1/17 連盟本部主催 “新春制定刀法講習会” 於：東京武道館

講習会は、総括として教務部 菅野茂 教士
八段のリーダーシップにより進められ、準備
体操(松浦健成講師)・制定刀法実技演武
(千葉支部：柴田輝久)・制定刀法の要点の
解説(中世古勝司講師)に基づく、形の実技
演武(大塚光男講師)が行われ、会場には、
熱心に取り組む支部会員諸氏の気合と熱気が
走った。講習会の締めくくりは全員による
「制定形10本」の実技を一齐に行い意義あ
る講習会は滞りなく終了した。
なお、総合同会は、松浦健成広報部次長が
担当した。

また、6434人が亡くなった阪神大震災
は発生から今日の十七日で二十年を迎えた。
中村鶴治最高顧問と震災の犠牲者の方々の
ご冥福を謹んで心から祈り、黙祷を捧げたい
とのご挨拶があり、会場には厳粛な空気が
流れる中、会員諸氏の胸中からは、ご冥福
を祈りつつ、連盟の発展を願う「修練を
通した『絆』」の大切さを感じ取った。

新春を迎えた、快晴の一月十七日(土曜)
東京武道館に於いて連盟本部主催の制定刀法
講習会が教務部主管により盛大に行われた。
講習会開会にあたり冒頭、大江 正男 連盟
会長は誠に悲しい事だが、昨年暮れの十二月
二十日に、本連盟最高顧問の中村鶴治先生が
ご逝去され、同月二十八日の葬儀には中世古
副会長と共に出席したとの報告があった。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。



会員諸氏の益々のご精武と連盟の発展を
心からお祈り申し上げます…。

連盟会長 大江 正男
役員一同

謹賀新年

…肌寒き新春の東京武道館に精鋭選手の熱気が走った… 遠路 高知支部・山形支部からも参加した“新春講習会”

◆出席者名簿◆

- ◆ 千葉支部：小林大二・根本 完・柴田輝久・山口達弘 ◆ 市角荘玄・高知支部：境 康雅・今村一彦
- ◆ 埼玉支部：田島 敬・関原 勝・岩碓 進 ◆ 八千代支部：藤原義彦・藤原弘道・岩澤和也・宮本鉄朗
- ◆ 忠 勇 会：松浦健城・西原彩子 ◆ 水戸虎進会：森山 進 ◆ 土成会：堀内城夫・長野広治
- ◆ 鎌倉支部：糸澤良全・金子 薫・小林昭夫・横山慎平・鈴木洋一郎・斎藤亮一 ◆ 川崎支部：佐藤敬子
- ◆ 山形支部：遠藤 仁・佐藤淳一・軽部慎也・黒田了光 ◆ 剣 誠 会：藤田久男 ◆ 笠間支部：浦井一彦
- ◆ 武 蔵 会：平川政博・植山孝明・岩玉典之・岩玉典之 ◆ 秩父興心会：野口常男・山口 博
- ◆ 秩父支部：野村寛一・関口英治 ◆ 尚武館：小林克巳・下田柔心 ◆ 心武会：長畑卓治・井上康司



【本部役員】
 会長 大江正男・中世古 勝司
 中島正夫・太田 丈夫
 菅野 茂・大塚 光男

中世古勝司 講師の
 “制定刀法の要点”解説により、
 実技での模範演武を示し
 要点ポイントの
 徹底確認がなされた。 ↓



…◆講師紹介◆…

中世古 勝司
 菅野 茂
 大塚 光男
 総詞会：松浦健城

全国各県各支部を代表して参画した
 精鋭選手の眼差しは輝き…
 将来の連盟は背負って行くぞと言う
 爽やかで凛々しい
 意気込みが伝わってきた…。 ↓



“絆…連帯” 新春交流懇親会

連盟会員が増え支部活動が活発化する中…、連盟の発展“組織の礎”を為す『絆と連帯』を求め講習会終了後、事務局の配慮で“新春交流懇親会”が希望者レベルで行われ…
久方ぶりに美酒を傾けながら、和気あいの雰囲気の中で、意義ある“交流懇親”のひと時を過ごした。なお、広報部は一人でも多くの、現在の“会員の元気”な“姿と足跡”をご本人並びにご家族の為に“ある日・あの時”の記念に残すべく配慮して…
会報編集構想に基づき“スナップ写真”をふんだんに使い“視覚”による“特集編集”とした…。

…人生 一期一会… 新春交流懇親会 “出席者”

大江正男・中世古勝司・中島正夫
菅野茂・堀内城夫・藤田久男
山口博・保泉正夫・藤原義彦
松浦健城・森山進・大塚光男
佐藤啓子・境泰男・今村文彦
小林克巳・下田柔心・遠藤仁
佐藤淳一・軽部慎也・黒田了光
系澤良全・金子薫・小林昭夫
横山慎平

[以上25名]

“絆と連帯”
…友と語りし“今日の一杯”
明日への活力…



【本部役員打ち合わせ】

笑顔と笑い…対話の中からは
《小池に投げた小石の輪》が広がる様に
抜刀道を継承し、
連盟の次代をつぐ
精鋭選手の
《絆》と
《連帯の輪》の
広がりを感じとれた…。

交流懇親会（新年会）は
遠路、大阪から早朝四時に家を出て出席
した大江連盟会長を初め、高知・山形・
関東各県支部の精鋭選手が疲れもみせず
に参加した。



◆◆ 訃報 ◆◆

連盟最高顧問 剣道範士
鹿島神武殿 理事長
中村 鶴治先生(享年六六歳) 2014.2.20(逝去)

在りし日の中村鶴治先生の横顔

武道振興財団として武道を通じ、日本の時代を継ぐ青少年の健全育成の為に、昭和五十三年鹿島神武殿を竣工。初代館長・生前理事長を務め武道と事業を両立させ、時代を継ぐ青少年の育成躍出に心血を注いだ。同時に日本の実業界では、武道哲学を実社会の中で実践し社会貢献をしつつ事業を成功させた、正に文武両道を実践する大物実業家としての知名度が高い。道場の館則は『敬神・誠心・礼節・精進・日常』の五則。道場での修練は、日常の生活を根幹となす。日常を離れて道場なしとの尊い武道哲学を普及させ時代を継ぐ青少年の心の中に深く教訓を残している。



NPO法人
日本抜刀道連盟
会長 大江正男
役員・会員一同

ご逝去を悼み、謹んでお悔やみを
申し上げますと共に
在りし日のお姿を偲び
ご冥福をお祈りします



◆◆ お人柄紹介 ◆◆



◆ 所属支部 ◆
山形支部 神山館。

◆ 武道歴 ◆
※ 抜刀道 範士 八段。
(NPO法人 日本抜刀道連盟)
※ 神刀流 範士 八段。
※ 戸山流 教士 七段。

◆ 経 歴 ◆
※ 山形市体育協会評議員。
※ 平成7年武道場 神山館設立。
※ スポーツチャンバラ 山形県会長。 山形支部長
※ 居合抜刀術 全国大会主催。 遠藤 仁
(63歳)

◆ 武道修練の目標 ◆
※ 自己を戒め慢心する事なく
心身を律し常に謙譲。

◆ 座右の銘 ◆ 質実剛健 ◆ 趣味 ◆ 尺八・養鯉・旅行。

■ “風向明耀” 雄大な蔵王連邦に包まれた“エネルギー”を感じる山形県。この地は、本連盟創設者の一人でもある、誰もが知る『現代の抜刀道の生みの親』 中村流抜刀道八方新創始宗家 中村泰三郎 泰舟翁の生誕地であり、抜刀道が盛んな地である…。

▼ 30歳頃から武道に目覚め、中村泰三郎先生の流れを汲む戸山流を修得。現在、本連盟の編制指導理念に感銘を受け、山形支部長として“質実剛健の座右の銘”を実生活で実践し、本連盟行事の参加には、遠方から欠かさず出席し、連盟組織活動に協力貢献している…。地元では遠藤仁支部長を中心に“13名の精鋭選手”が中核となって、蔵王連邦を背に抜刀道の修練に励む…、山形支部の指導者の姿を紹介する…。

(本部 広報部)

◆◆ 広 報 ◆◆ 編集…後記

…◆健康こそ財産◆…

- 最近本連盟も“訃報の便りが多くなった…”。在りし日の元気な姿を思い起こし悲しみの中から、ご冥福を祈りつつ“連盟会報”を取りまとめているがとても辛い…。
- ▼ 人はとかく元気な時は《健康》である事の有り難さに気づかない…。しかし《病》になって初めて健康こそが “正に財産” である事に“真”から気づく…。
- ▼ 思い起こすと、今は亡き、我が“お袋”の言葉を思い出す…。小銭は貯めても『胆のう』には《石》を溜めるな！ と … よく言っていたが、この“教訓”の真意を知って載き、私の“闘病体験”から、“会員諸氏の健康を守る”為にお恥ずかしいながら“前号の会報36号”にも、若干触れたがその後の“近況”をあえてご披露する…。
- ▼ 若干、私事に触れるが…昨年の9月。私は突然の『急性胆のう炎(重症)・急性胆管炎(重症)』に襲われ救急車で運ばれた…。現在はその治療の延長線上の“回復段階”にあるが、来月の2月中旬に3回目の入院手術(1回目の救急入院時に、肝臓からの胆管に入れた『カテーテル』を取り外す手術)を行う事に決まった。
- ▼ 2回目の緊急入院“胆嚢摘出手術”では、どうも“全身麻酔”で『昏睡状態』に陥り“意識戻らず”手術成功で、一度帰宅した家族が、再度呼び戻されるなど大変だったらしい…。
- ▼ この頃、私は“平川夜船”の夢の中だったが…、お前も、そろそろどうだ！と…、私を待ち構えていた《闘魔大王》には、私には“まだまだやるべき事があるのだ！”と、キッパリと断り 《三途の川》の手前で、私は勝手に《Uターン》して帰ってきた…。
- 何しろ生死をさ迷った状況から脱皮したばかりであるが、新しい年を迎えた今回の講習会の“講師陣と参加会員”の頑張る姿が絵に浮かび、この眼で《確認・肌で感じとらないと》会報原稿は書けないので氣力を絞り講習会場へ駆けつけた…。お陰様で講習会実施“1週間後”には《会報37号》を完成させ、全国会員に届けられる事が嬉しい…。80の坂を昇る年齢に反して、抜刀道修練で培った《気力・体力》に感謝する日々である…。



本部 広報部長
中島 正夫

◆ 制定刀法が互角の侍の“真剣勝負を想定”した刀法なら、私の相手は連盟“組織の一員”として、本部役員としての責務を果たし『会報編集を相手』とみなし、この様な緊急事態中でも滞りなく《発刊》する事が、私の“真剣勝負”であると認識し、本連盟の発展を胸中に“男のロマン”を抱きつつ、人生前向きに“明日への活力”を求めている…。

◆◆ 事務局便り ◆◆



菅野 茂
本部 事務局長

◆ 詳細は「ホームページ」或いは、事務局までご連絡下さい。

◆ 今年四月より東京武道館第二武道場に於いて《制定刀法の形と実技》の稽古会を行います。
※ 申し込み 当日参加可能。 ※ 参加料 10000。
※ 指導 大塚光男範士八段。菅野茂教士八段。
◆ 稽古会日程 ◆
※ 5月(月)・25(月) ※ 5月(月)・27(月)
※ 5月(月)・28(月) ※ 6月(月)・27(月) ※ 6月(月)・28(月)

■ 連盟本部 定期稽古会の実施。
平成二十七年三月二十九日。《審査》九時三〇分～十二時三〇分まで
◆ 場所 ◆ 神奈川県立武道館小道場
◆ 審査委員長 ◆ 菅野茂先生。副委員長：大塚光男先生。審査委員：岡本光正先生
◆ 合同稽古は審査会終了後引き続き行う。 ◆ 受付：九時
※ 初段【形】一本、五本目【実技】一本、三本目【実技】一本、七本目【実技】一本、五本目
三段【形】一本、十本目【実技】一本、七本目 ※ 二段【形】一本、七本目【実技】一本、五本目
一本、十本目

Report

…広報部からのお願い…

会報37号は、連盟会員一人一人の“足跡と思い出”を残す『38頁から41頁』の計4枚構成です…。
広報活動は、組織の“礎”であり、各支部事務局はコピーして支部会員への配布を願います。 ◆◆ 広報 部長 ◆◆